

金田一温泉

田んぼの中から湯が湧き出したことから"湯田"と呼ばれて親しまれてきた金田一温泉は、2026年で開湯400年を迎える。

豊かな自然とともに、時代を越えて愛されてきた金田一温泉。特集では、温泉の歴史を振り返りながら、節目の年となる来年に向けて、官民一体となって動き出す活動や思いを伝えたい。

開湯四百年



昭和20年代の金田一温泉「丑の日祭り」の様子

四百年の歴史～金田一温泉のこれまで～

1635 金田一温泉のはじまり

(寛永12年)

風呂場に湯宿が建ち、
大衆のための温泉場が完成

1600年～1800年頃は
南部藩指定の湯治場で
"侍の湯"と呼ばれた

1966

(昭和41年)

金田一京助博士の歌碑除幕式
混在していた温泉名を
「金田一温泉」に統一



1952

(昭和27年)

三浦哲郎が湯田温泉郷の
父の実家で一時期を過ごす

昭和

1954

(昭和29年)

金田一温泉プール落成



1994

(平成6年)

国民保養温泉地に指定

1998

(平成10年)

金田一温泉センター
「ゆうゆうゆ～らく」
オープン

平成

1970

(昭和45年)

第25回国民体育大会 水球競技を開催



2022

(令和4年)

「カダルテラス金田一」 オープン



2026

(令和8年)

金田一温泉 開湯四百年

令和

▶ 4つの源泉

約33℃とぬるめの源泉が特徴で、泉質は微量のラジウムを含む低張性弱アルカリ低温泉。現在は大湯、黎明の湯、金栄の湯、玉の湯の4つの源泉がある。

切り傷や皮膚病に効能があり、多くの武士が傷を癒しに訪れたことから「侍の湯」とも呼ばれ、江戸時代には南部藩指定の湯治場だった。

▶ 国民保養温泉地に指定

当時は県内4番目の登録で、温泉法に基づき環境省が指定。指定には、温泉の泉質が健康増進や疾病予防、療養に適していること、湯量が豊富であること。また歴史や街並みといった自然環境の良さ、宿泊施設、公衆浴場、遊歩道の保養施設が整っていることなどの条件が求められる。

四百年の思い

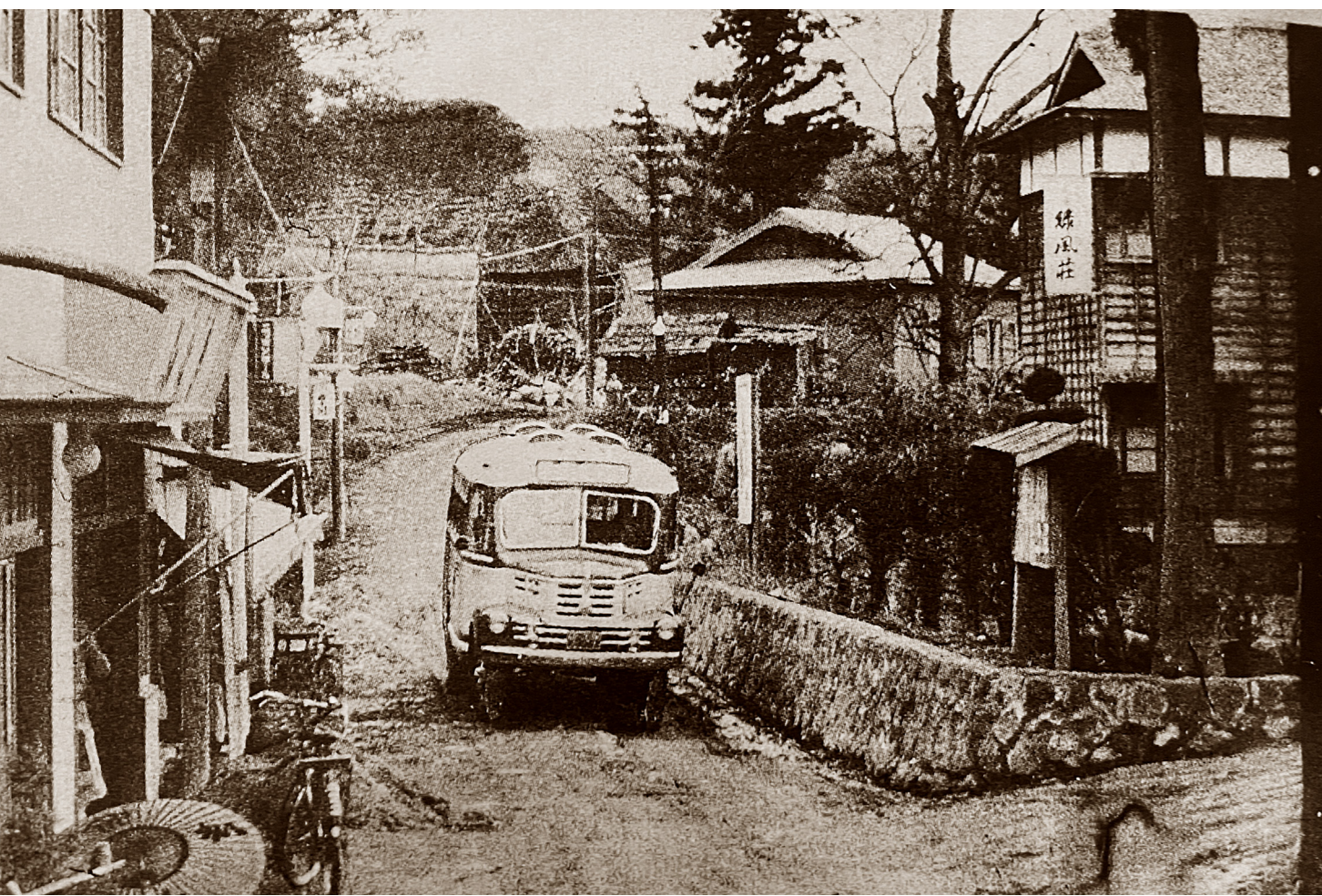
金田一温泉が栄えていた昭和45年頃は、23軒の旅館や10軒ほど飲食店があったが、団体客から個人客にシフトしていったことなども影響し、現在は旅館7軒、飲食店は2軒にまで減っている。そんな中、「座敷わらしに会える宿」として全国的に有名な緑風荘で火事が起きてしまう。

「あの日のことは鮮明に覚えているよ。10月4日の日曜日、夜8時くらいで、満月の夜だったなあ」と話してくれた五日市さん。

平成21年10月4日、今から16年前のこと。その日は21人が宿泊していて、関東から来ていた耳が聞こえない二人の親子や、沖縄から来ていた人、名古屋から来た人、他の宿泊客のこともよく覚えていた。

「私も晩御飯を食べようとしていた時に火災報知機が鳴って。ボイラー室を開けたら、火の粉と煙が充満していた。慌てて消火器を手にとったけど、とても太刀打ちできなくて…」とあの日を振り返る。

昭和30年頃の緑風荘前の様子



とにかく宿泊客を避難させなきゃいけないと必死だったという。一番最後に避難した耳の聞こえない親子に五日市さんが話しかけると、お母さんがこう答えた。「頭の中で「火事だ、逃げろ」って子どもの声でした」と。宿泊客と従業員は無事で、すぐ隣の家にも延焼しなかった。「きっと座敷わらしがみんなを守ってくれたんだと信じている」と話す。

緑風荘が火災で全焼したことが全国ニュースで流れると、たくさんの人から再建を望む声が届いた。「実は数百年前に隣の集落から、ここに移ってきたきっかけも火事だったと聞いている。「古いから新しくしろ」って意味なのかなと思って」と前向きに考えるようになったという。平成28年5月14日、7年ぶりに営業を再開した。

金田一温泉郷は今、開湯400年を機に地域一丸となって新たな一歩を踏み出す。「みんな、さまざまな苦労や困難を乗り越えてきた。挫折しそうになっても1年、また1年と積み重ねて、今がある」と思いを語る。どれほどの困難を乗り越えてきた人なのだろう。金田一温泉開湯400年にかかる思いは人一倍強いはずだ。

5月13日に旅館関係者や市民団体、市など官民で組織する「金田一温泉開湯400年祭実行委員会」を設立。来年に向けて機運を盛り上げる年とし、夏にさまざまなイベントなどを企画している。



緑風荘 27代目当主
金田一温泉開湯 400年祭
実行委員会 会長

五日市 洋^{しろう}さん



火災の翌年、足湯ができる場所を作り、無料開放した



座敷わらしの亀磨くんと実行委員会のメンバー



四百年のぬくもり



火災から免れた亀麿神社
今も多くの参拝客が訪れる

毎日緑風荘に行き、温泉に浸かるのが日課だった向井さん。
 「あの日はたまたま、いつも行く時間より10分ほど遅れて緑風荘に行ったんだよ。着いたら白い煙が上がっていて、おかしいと思った。中に入ったら消火器を持って走っている従業員がいて「火事だ」というから見に行くと、ボイラー室は火の海だったんだ」と昨日のここのように話してくれた。すぐに消防団の仲間と消防署に連絡した。向井さんが第一通報者だ。
 火はあっという間に燃え広がってしまったが、せめて緑風荘の隣にあった五日市さんの家や神社だけでも守ろうと、金田一温泉プールからも水を引き、消火にあたった。
 「仕事が終わったら、温泉に入る。最高だよ。でもそれは近くに温泉施設があるからできること。旅館の人たちに感謝だね」と笑顔で話してくれた。最近ではカダルテラス金田一にもよく日帰り入浴で訪れるという。湯を愛する地元の人もまた、大切な宝だ。



ヘアーサロンムカイ
向井 雄一さん

KINDAICHI

 もっとずっと
 みんなで愛そう金田一温泉



2026年(風呂の年)に向けて キャッチコピーを募集します

20文字程度で金田一温泉の魅力が伝わるキャッチコピーを募集します。
 応募締切 6月20日(金)まで
 応募方法 FAX・郵送・持参
 賞品 緑風荘ペア宿泊券
 発表 7月26日(土)ユダオンパク2025会場

当時の写真を後世に… 懐かしい写真を募集します

当時の温泉街・お祭りなど、金田一温泉郷で撮影された写真を募集します。
 応募締切 8月31日(日)まで
 応募方法 郵送・持参・メール



- ▶ 郵送・持参 〒028-5711 二戸市金田一字大沼24-6 金田一温泉観光案内所
 - ▶ メール k-onsen@apricot.ocn.ne.jp (応募用紙を添付)
 - ▶ 問い合わせ先 金田一温泉開湯400年祭実行委員会事務局 (☎27-2540、FAX27-2447)
- ※詳細は二戸市観光ツーリズム協会ホームページを確認ください



みんなで歩こう

今年で6回目の開催 ラジオ deウォーキング withワカスガストロノミー in金田一

南部氏・四戸城の城下町として発展した奥州街道98番目の宿を、ラジオを聴きながらのんびり歩きませんか。
 鮎の塩焼き、特産りんごジュースやブルーベリーのアイス、焼きたての南部せんべい「てんぼ」、金田一産のお米で醸された地酒・南部美人など金田一地域のグルメも堪能できます。

日時 6月22日(日)9時20分受付開始
 受付場所 カダルテラス金田一
 参加費 中学生以上1,000円、小学生500円
 申込期限 6月13日(金)まで※定員50人
 問い合わせ、申込先 カシオペアFM (☎43-3641)

